

# 令和3年度 福岡女子商業高等学校事業計画書

## 1、施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	F A X 番号
福岡女子商業高等学校	法人所有	811-1203	福岡県那珂川市片縄北1丁目4番1号	092-952-2231	092-952-5934

## 2、学生の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（令和3年度3月10日現在 1年は見込数）

大学科	学年	学科	コース	定員	在籍数	収容 (%)
商業	1年	商業系	特進コース	30名	39名	130.6%
			商業コース	180名	54名	33.3%
			ビジネスビューティーコース	30名	30名	100%
	2年	総合ビジネス科	特進コース	30名	25名	83.3%
			商業実践コース	130名	21名	16.2%
			ビジネスビューティーコース	20名	19名	95.0%
		情報ビジネス科	情報実践コース	80名	28名	36.0%
	3年	総合ビジネス科	特進コース	30名	27名	90.0%
			商業実践コース	130名	30名	23.0%
情報ビジネス科		情報実践コース	80名	36名	45.0%	

(2) 令和3年度入学者予測数・令和2年度卒業生数・退学者数・除籍者数一覧

	入学者数	編入者数	卒業生数（終了者数含）	転学者数	除籍者数	増加予測
商業	123名	0	116	2	0	7

### 3、教職員関係

#### (1) 令和3年度管理職の概要

職名	氏名	備考（新任・留任等）
学校長	柴山 翔太	新任
総括教頭	澤井 慎治	新任
教頭	大坪 由紀	新任
事務長	澤井 慎治	新任

#### (2) 令和3年度教職員の概要

		合計（人）
教員	本務	26
	非常勤	10
職員	本務	3
	兼務	1（事務長）

#### 4、事業の概要

##### (1) 事業の概要

本校は、私学に移管して4年目が終了した。そこで5年目となる本年度からは、次のステージへのステップアップと学校運営をすすめてICT教育を基盤に商業教育のさらなる特色化を図り、新コースであるビジネスビューティーコースによる起業家プログラムを推進するとともに、国公立大学を含む4年制大学への進学の実、更には第2体育館や夜間照明を付けたグラウンド等の施設の充実を活かした教育活動のみならず、地域貢献に取り組みむことで、地域や中学生にとって魅力ある教育活動を展開し、入学生の増加を図る。

##### (2) 主な事業の目的・計画

年度	事項	概要	進捗状況
29～	ICTの活用の深化 (授業の質の向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間クロムブックを活用した学習活動を含めた教育活動全般での効果的な活用を研究し、活用の日常を目指し一定の成果が見られた。今後は授業の質を向上させるため、主体的で深い学び、協働的な学びとなるよう授業の質を向上させる手立てを研究する。</li> <li>・教職員の働き方改革に伴って、業務効率化のためのクロムブックの活用を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間毎年10月に「ICT活用公開授業」を実施、各活用事例を基に公開授業を実施し、近隣の中・高の先生方に一歩進んだ活用方法を参観してもらった。コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度の実施は見送った。</li> <li>・オンライン教材(スタディーサプリ)を全クラスに導入し、授業強化と家庭学習の充実のため学習全般に利用した。</li> </ul>
30～	特進コースの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進学希望の生徒の増加に伴い、国公立大学及び地元難関私立大学への進学を目指すコースを新設し、推薦試験以外に一般入試による進学ができる指導体制を確立する。</li> <li>これにより、商業の強みを生かしながら、進学・就職の両道をめざせる学校として入学生の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特進コース4年目となり、4年制大学見学・体験を実施したり、他校特進クラスとの合同授業を実施したりした。</li> </ul>
30～	実践的コミュニケーション力につながる英語教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルな視点で活躍する人材を育成するため、英語研修を取り入れた修学旅行の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度の修学旅行はコロナウイルス感染症の流行により、中止とした。</li> <li>・令和3年度は引き続き選択制3コース修学旅行(語学研修)を実施する。海外での現地の方々との交流や様々なプログラムが好評だったことから海外希望者を増やしたい。</li> </ul>

1～	ビジネスビューティ ーコースの新設	・昨今の美に関する需要の拡大に対応して、「美」に関する学習を通してビジネスに関する課題を発見し、将来起業できる力を養うことを目的に新たに4つ目のコースを新設する。	・令和2年度の3年生課題研究において、ビジネスビューティコースを試行した。 ・ネイルの成果を掲示したり、ハンドマッサージを介護施設で実施したりした。 ・起業家プログラムの一環として講師によるビジネスビューティ講座を実施した。
1～	福岡大学との連携	・企業理念や経営理念を取り入れた女子商マルシェの見直しを福岡大学商学部との連携を図り研究する。	・年間6回の福岡大学学生による特別授業を実施した。その成果を12月に行われた商業オリンピックで発表した。
1～	第2体育館の活用及び運動場照明施設の 取り付け	・第2体育館や照明設備のある運動場を広くスポーツ団体や希望団体へ貸出し、スポーツの振興や地域の活性化に貢献する。	・地域のスポーツ少年団を招いて第2体育館でハンドボール教室を実施した。 ・近隣中学校ハンドボール部の練習会場として貸出をした。
2～	通学利便性向上のためのスクールバス コース拡充	・現在のスクールバスの1コース（東区方面）に加えて西方面の生徒の通学を支援するコースの新設を検討し施行する。	・西方面のスクールバス対象地域からの生徒が入学するため、令和3年度よりこの路線の運行を実施する。
3～	大学進学（国公立） 指導の拡充	・より充実した小論文指導体制を構築し、進学希望者への進路指導を徹底し、国公立大学を含めた4年制大学への進学増を実現する。	・令和2年度よりスタディールームを整備し、小論文指導を徹底したことにより、国公立大学進学者を15名（のべ20名）輩出することができた。
3～	ビジネスビューティ ーコースの開始	・「美の経営者を育てる」をコンセプトに職業人としての資質、能力、マネジメント力を身に着け起業意欲あふれた人材を育成する。	・ビジネスビューティールームを整備し、新入生30名を迎える。

### (3) 施設・設備の整備計画

- ・本校は伝統的に部活動が盛んで、常に県大会上位を占める活躍をしている部活動がある。特にハンドボール部は過去全国大会に出場した経験もあり、令和2年度も県大会準優勝の活躍を見せている。また、全日本チームの主将を務める永田選手は本校の出身者である。
- ・令和2年度にグラウンドの夜間照明設備を設置した。

(4) 卒業生数、進路状況

卒業生数	就職			進学			家事手伝い	未定
	学校紹介	家業	公務員	四年制大	短大	専門学校		
116	32	0	1	36	6	35	4	1

(5) 生徒の就職、進学の状況

就職率100%の商業高校としての認識が中学校に定着している。また、今年度はコロナウイルスの影響による求人数減少がみられたにもかかわらず、税理士事務所をはじめとした多くの業界への進路実現を果たした。

進学も地元国立大学、私立大学等へ毎年進学しているが商業高校は即就職というイメージが強く、今後進学面の強化と併せ広報による周知が必要である。

(6) 教員の採用・退職計画

年度	事項	概要
平成30	教職員採用（常勤講師10名） 転退職（専任3名、講師10名 計13名）	専任19名、常勤講師15名、非常勤講師9名
令和元	教職員採用（常勤講師7名）	専任17名、常勤講師9名、非常勤講師12名
令和2	教職員採用（常勤講師5名） 転退職（専任2名、講師7名 計9名）	専任20名、常勤講師9名、非常勤講師12名

(7) 今後の課題

コロナウイルス感染の拡大により、今後も就職に関する求人の減少が危惧されることから、就職対策の強化が必要である。

また、国公立大学をはじめ、四年制大学への進学が増加しているなか、地元私立大学の指定校枠の確保が課題である。

さらには、近隣の公立高校の特色化入試導入などにより、生徒数確保が一層激しくなるなか、特色あるコース（特進・ビジネスビューティー）の周知を図り、より一層の戦略的な広報宣伝活動の充実が求められる。引き続き部活動や特色ある教育活動、さらにはビジネスマナーを中心とした出前授業などにより、中学校へ向けての積極的な広報活動に努める。